

西国街道を歩く - 苦の坂を越えて -

大竹市から山口県和木町にかけて、15名の参加者の皆さんと約13kmの道のりを一緒に探訪しました。途中傘の出番はありましたが、概ね良い天気にも恵まれ、予定よりも早く全行程を終了しました。

まずは玖波駅をスタートし、「高札場跡と角屋釣井」を見学してから西へと向かいます。^{くば}「玖波本陣跡・玖波口屋番所跡」「黒川台場跡」「櫓跡」^{おがた}「小方口屋番所跡」「和田家長屋門」「^{いつき}厳神社」「亀居城関連遺跡」「小方台場跡」「橋姫神社」「^{このがわ}苦の坂」「ちきり池神社」「太閤ふるまい井戸」そして「木野川渡し場」に着いてから昼休憩です。そこにポツンとあったトイレが、何とバイオトイレでした!!午後からは、小瀬川沿いに河口に向かって「中津原御茶屋跡」「薬師寺」^{やまと}「大和橋」「安禅寺（彦根藩士の墓）」最後に「さくら遊園地（砲台跡）」を訪れ、和木駅で解散しました。参加者の皆様には、マスク等の着用、ソーシャルディスタンスをとっての昼食等、コロナ感染防止対策にご協力いただきありがとうございました。



心休まる
竹林



黄色の
じゅうたんは
サクサクと
軽快な音



木野川（安芸）と
小瀬川（周防）の
二つの名前を持つ川

